

瀋陽駐在員事務所

ヤマダ電機・瀋陽店

B1階	美容、日用品、食品、化粧品、健康器具
1階	テレビ、DVD
2階	携帯電話、デジタルカメラ、時計、メガネ
3階	冷蔵庫、洗濯機、調理機器、おもちゃ
4階	パソコン、プリンター、パソコン関連用品、
5階	空調機、給湯器、住宅設備
6階	レストラン街

サービス、低価格、高品質、アフターサービス、ポイント還元」の5つを武器に中国家電大手に対抗します。店内は清潔で、品揃えは豊富（約150万点）、従業員の接客は非常に丁寧でした。瀋陽暮らしで忘れかけていた「日本のサービス」に触れ、心地よくショッピングを楽しませていただきました。「謝謝、亜瑪達電器！」

ヤマダ電機瀋陽店オープン

12月10日、「ヤマダ電機瀋陽店」が開店しました。地下1階、地上6階、総面積2万4000㎡の超大型店舗です。場所は、歩行者天国のある瀋陽の中心「中街」の一角です。

中国には、地元家電量販店として、「国美電器」、「蘇寧電器」などが、既に全国展開していますが、「ヤマダ電機瀋陽店」は「店頭サービス、低価格、高品質、アフターサービス、ポイント還元」の5つを武器に中国家電大手に対抗します。店内は清潔で、品揃えは豊富（約150万点）、従業員の接客は非常に丁寧でした。瀋陽暮らしで忘れかけていた「日本のサービス」に触れ、心地よくショッピングを楽しませていただきました。「謝謝、亜瑪達電器！」



ヤマダ電機外観

正司 毅

ユジノサハリンスク駐在員事務所

Ёлка (ヨールカ:クリスマスツリー)

2月に入りユジノ市内の各所でヨールカ（クリスマスツリー）の設置が急ピッチで進められています。また多くの商店でもヨールカやイルミネーションの「飾りつけ」が行われるなど、華やかな季節がやってきました。数年前まではヨールカは数ヶ所しかなく、またイルミネーションといっても限られた店しか飾られていませんでしたが、今ではどんな小さなキオスクでもヨールカやイルミネーションが飾られるようになりました。またこれらの「飾りつけ」ばかりでなく「クリスマスバーゲン」も行われるようになり、貴金属や毛皮のコートをはじめ多くの店が（日本と同じように）「・・・%引き」との広告を新聞やテレビ・ラジオで盛んに流しており、市民（特にご婦人方）の購買意欲を刺激しております。

日本でクリスマスといえば12月25日ですが、ここロシアでは1月7日がロシア正教のクリスマスとなります。サハリンには石油ガスプロジェクトで多くの欧米人がいるため12月25日も盛り上がりませんが、一般のロシア人は1月1日に新年、1月7日にはロシア正教のクリスマス、そしてロシア正教会の旧正月である1月14日頃までお祭り気分が続きます。

勝利広場の巨大なクリスマスツリー



對馬 雅弘

携帯電話依存症

中国に来た日本からの来客はほぼ間違いなく「この国はうるさい人ばかりだ」と思うはずです。その理由として真っ先に「皆声が大きい」というのが挙げられると思います。ですが小職が普段北京にいて同じくらい大きな理由と感ずるのは、中国人の「携帯電話のマナーの悪さ、依存症」です。まずマナーモードは有り得ず、必ず大きい呼び出し音がどこでも鳴ります。エレベーター、地下鉄・バス、会議中どこでも話し、特にひどいのは飛行機の中で飛ぶ直前まで電話で話し、着陸したらすぐに電源を入れ話し始めます。どこに、誰といてもとにかく携帯電話が優先です。当行にいると日中に携帯電話を使用する事は殆ど無い為、小職は特に違和感を感じます。背景には携帯電話が日本よりも更に身近である事があると思います。名刺には必ず携帯番号が書いてあり、連絡する際にはオフィスに連絡するよりも携帯に連絡し合う習慣があります。オフィスに伝言を残しても折り返し連絡がない事はしょっちゅうで、携帯に連絡の方が確実です。日本であれば携帯電話に直接電話する事は失礼にあたる可能性もありますが、ここでは関係ないと言って良いと思います。

「周りを気にせず電話をし、大きな声で話しまくる」。これぞ中国！という気がしてなりません。

中島 康成



(財)日中経済協会北京事務所